

電子入札システム
ご利用端末の設定と確認
【応札者】

令和5年1月

<目 次>

1.	ご利用端末の環境確認.....	1
1.1	ご利用端末に必要な設定（電子入札補助アプリ、OS、ブラウザ）	1
2.	OS のバージョンに関する影響	2
2.1	電子入札システム画面の起動方法.....	2
2.1.1	Windows 10 の場合	2
2.1.2	Windows 11 の場合	4
2.2	文字化けの回避方法.....	6
3.	Microsoft Edge (Chromium 版) を利用する場合	7
3.1	ポップアップ許可の登録	7
3.2	キャッシュクリア	10
4.	Google Chrome を利用する場合	13
4.1	ポップアップ許可の登録	13
4.2	キャッシュクリア	18
5.	その他制限事項	20
5.1	ファイルの添付に際して内容表示ができない	20
5.2	説明要求等で文字が重複表示される	21
5.3	印刷画面でスクロールバーが表示されない	22
5.4	翻訳オプション（翻訳ツール）のアイコン、ダイアログが表示される	23

はじめに

電子入札システムのご利用にあたっては、ご利用端末のOSやブラウザのバージョンにより、動作や画面表示が異なる場合があります。本資料をご確認の上、必要な設定を行った上でご利用いただきますようお願いいたします。

1. ご利用端末の環境確認

ご利用端末の OS (Windows) とブラウザにより異なる動作、画面表示となる場合があります。電子入札システムホームページに記載の稼働環境をご確認ください。合わせてご利用の認証局の対応状況も必ずご確認ください。

【電子入札稼働環境】

<https://www.e-bisc.go.jp/guide2/accept.html>

1.1 ご利用端末に必要な設定(電子入札補助アプリ、OS、ブラウザ)

(1) 電子入札補助アプリへの許可 URL リスト登録確認

ご利用の民間認証局により電子入札補助アプリ及び、電子入札システムを判別するための許可 URL リストが登録されていることを確認ください。

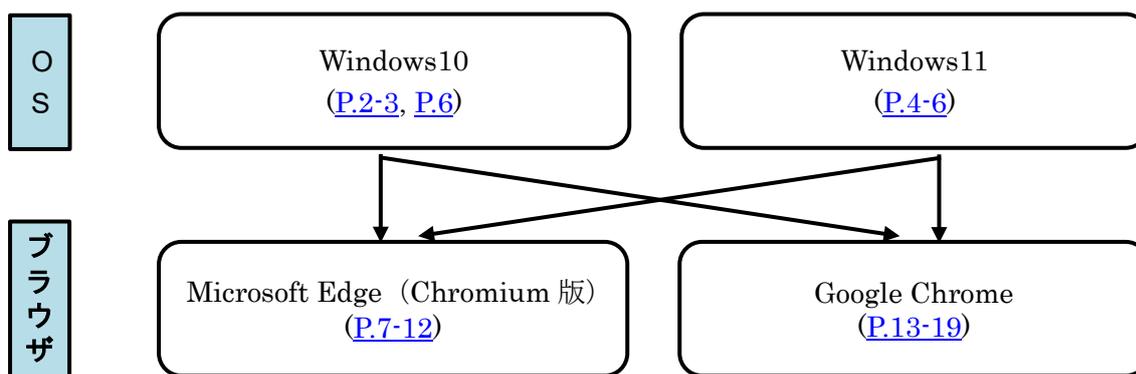
確認方法につきましては、ご利用の民間認証局へお問い合わせください。

	登録 URL(半角文字入力)	サイト名
1	https://e2odw.e-bisc.go.jp	本運用環境
2	https://e2acc01.e-bisc.go.jp	接続確認環境

(2) ご利用端末における OS、ブラウザ設定

ご利用端末における、「OS、ブラウザ」の各バージョンを確認し、次ページ以降の内容からそれぞれの環境において必要な設定を行うようにしてください。

※バージョンによって設定不要なものもあります。



2. OS のバージョンに関する影響

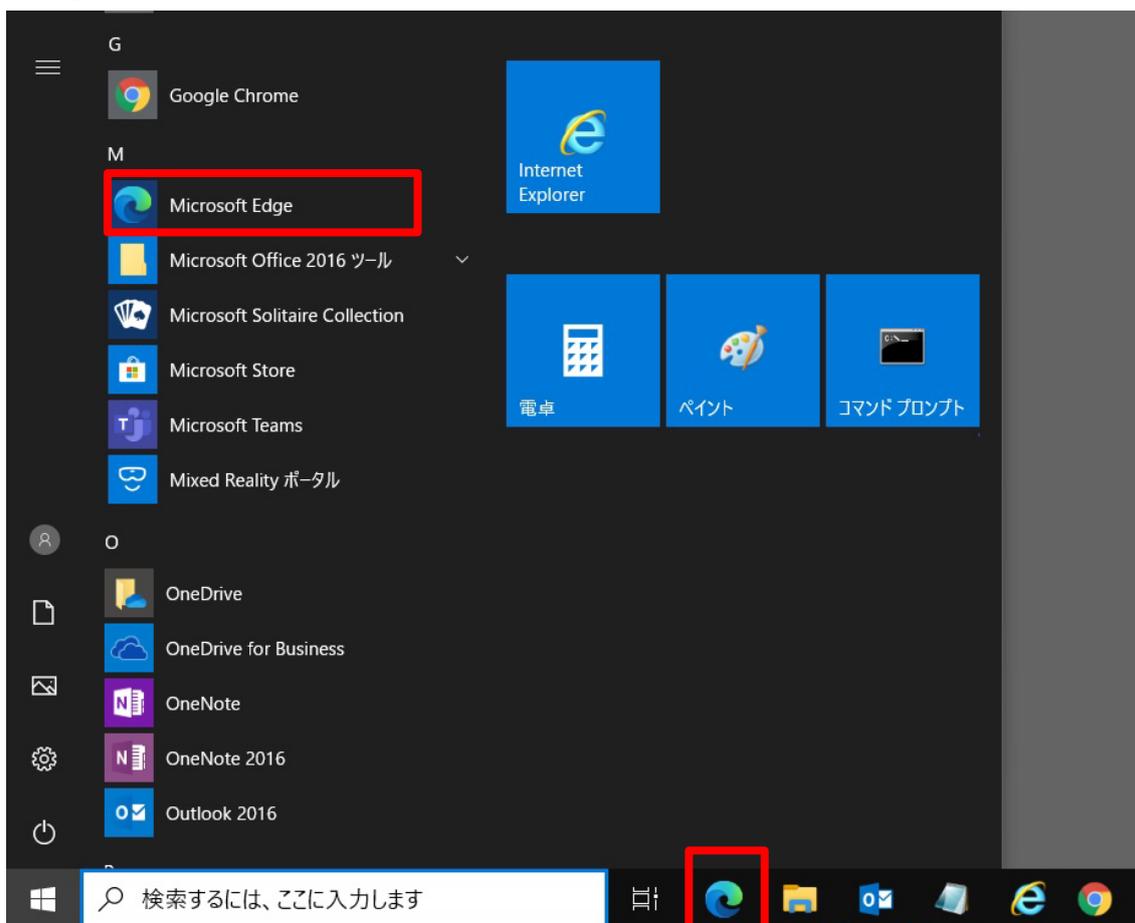
ご利用端末の OS (Windows) のバージョンにより、起動方法や設定が異なります。

2.1 電子入札システム画面の起動方法

2.1.1 Windows 10 の場合

(1) Microsoft Edge (Chromium 版) を起動する場合

- ① 「スタートメニュー」を開き「Microsoft Edge」をクリック。または、タスクバーの「Microsoft Edge」をクリックして起動。

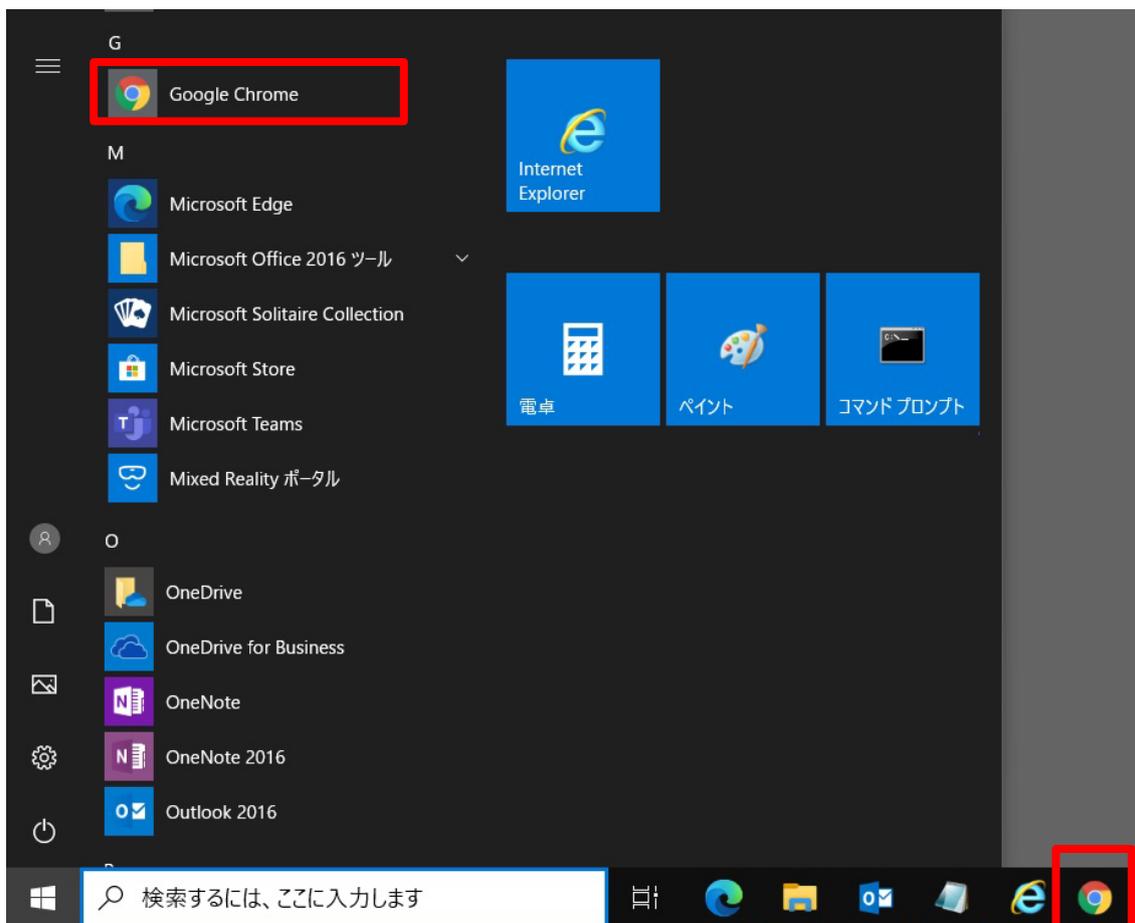


従来版 Microsoft Edge (レガシー版 Microsoft Edge) で起動した場合は、電子入札システムは正常に動作しません。

従来版 Microsoft Edge のアイコンイメージは  です。

(2) Google Chrome を起動する場合

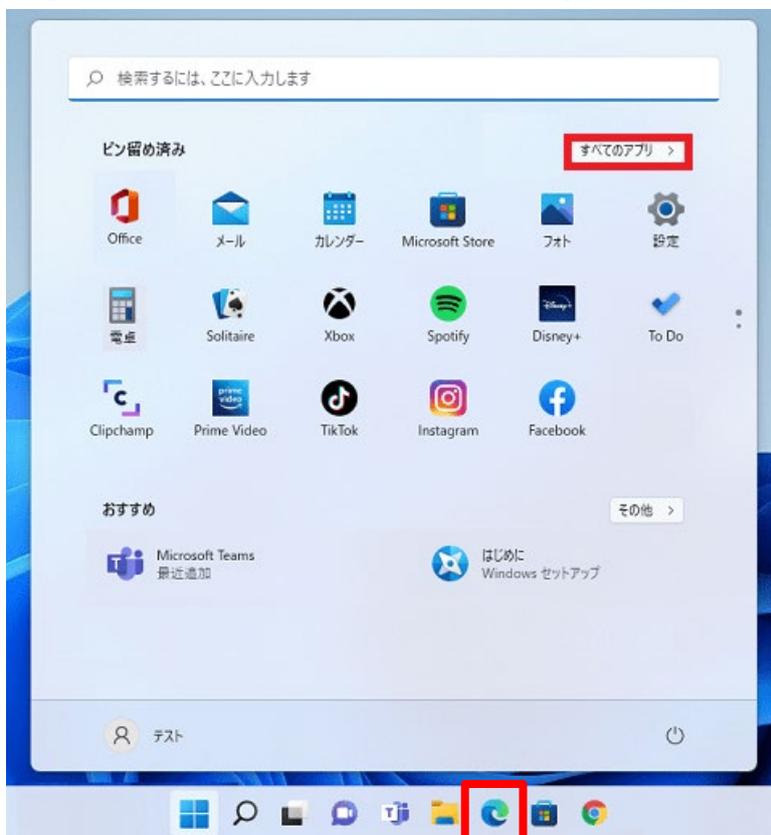
- ① 「スタートメニュー」を開き「Google Chrome」をクリック。または、タスクバーの「Google Chrome」をクリックして起動。



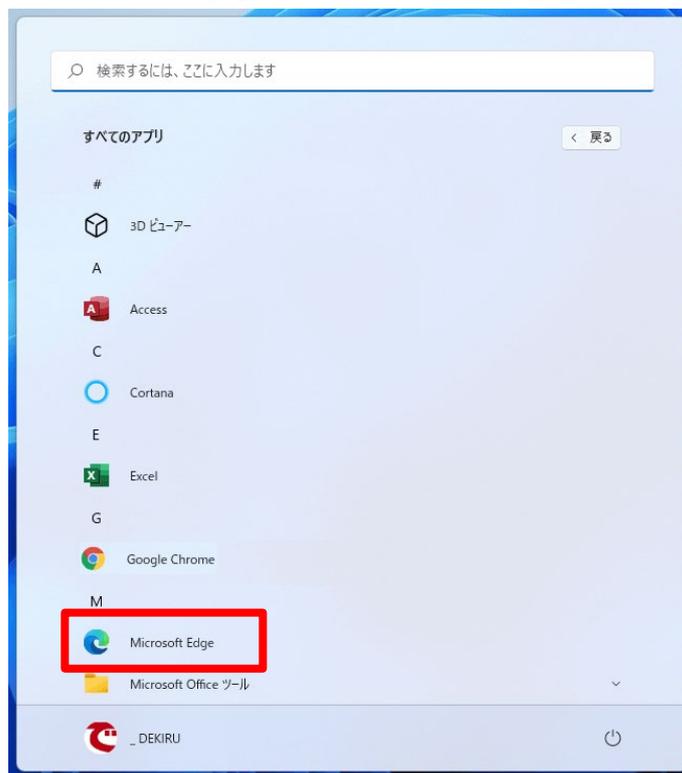
2.1.2 Windows 11 の場合

(1) Microsoft Edge (Chromium 版)を起動する場合

- ① 「スタートメニュー」から「すべてのアプリ」をクリックして手順②へ。または、タスクバーに「Microsoft Edge」をピン留めしている場合は「Microsoft Edge」アイコンをクリックして起動。

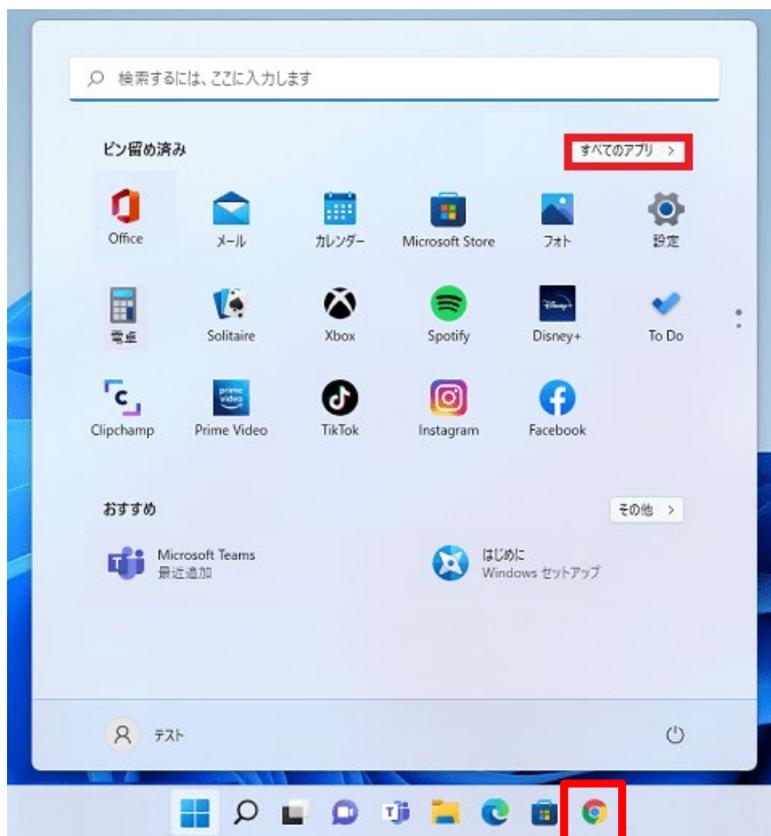


- ② 「アプリ一覧」から「Microsoft Edge」をクリックして起動。

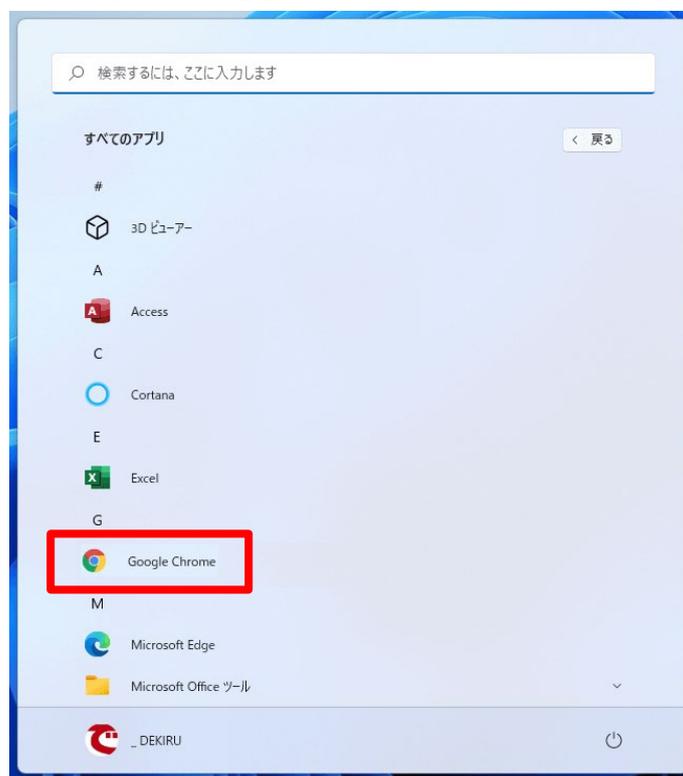


(2) Google Chrome を起動する場合

- ① 「スタートメニュー」から「すべてのアプリ」をクリックして手順②へ。または、タスクバーに「Google Chrome」をピン留めしている場合は「Google Chrome」アイコンをクリックして起動。



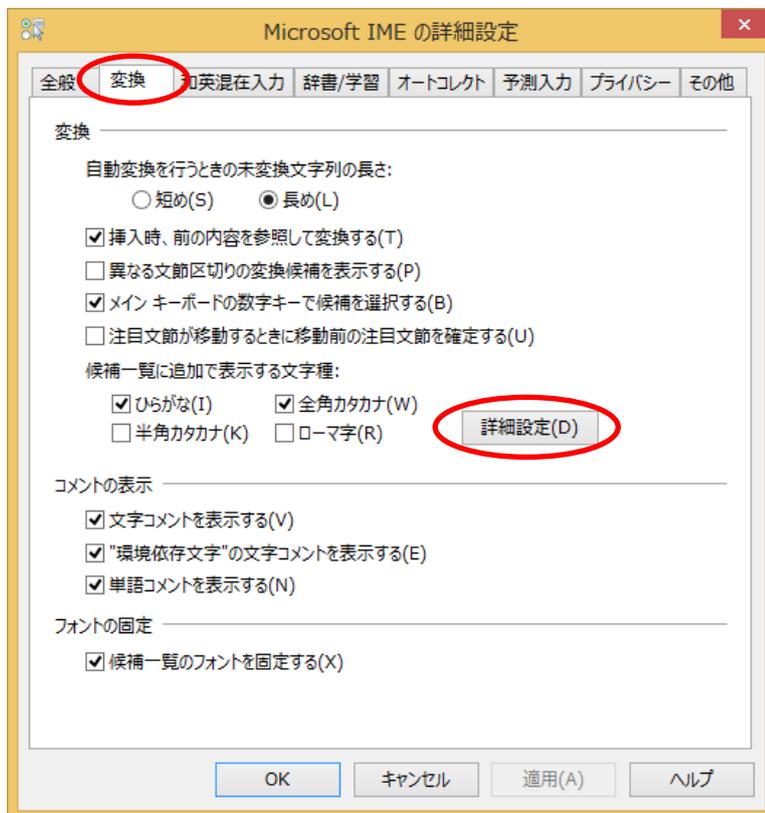
- ② 「アプリ一覧」から「Google Chrome」をクリックして起動。



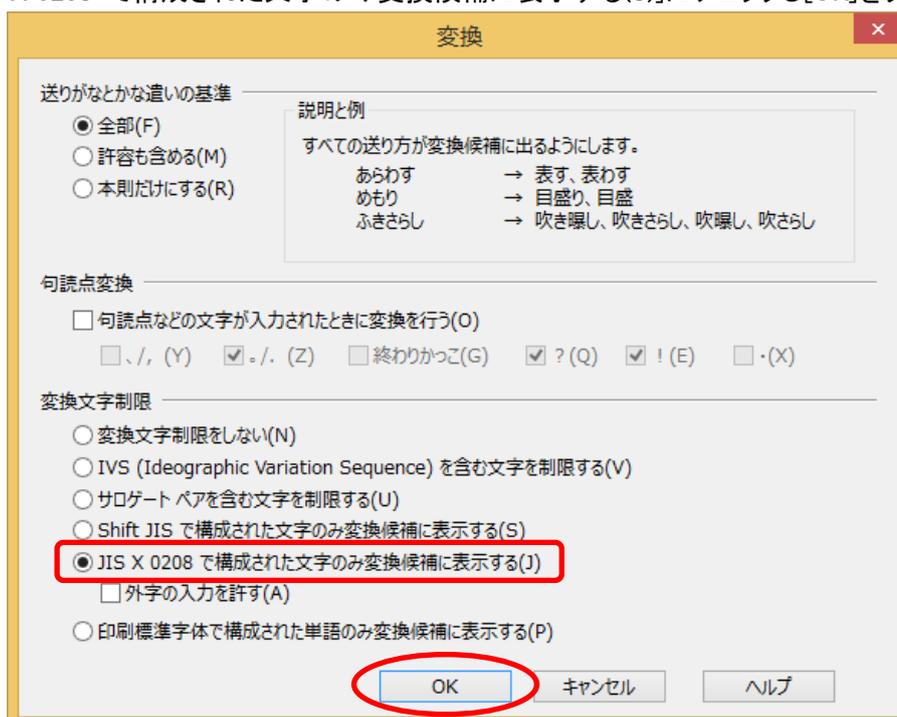
2.2 文字化けの回避方法

Windows 8.1 以降では、JIS2004 対応フォントのみが搭載されており、Windows 7 まで利用可能であった JIS90 フォントパッケージは搭載されていないため、JIS2004 でのみ対応の文字を入力して送信した場合、文字が化けて表示されます。回避方法は以下をご確認ください。

- ① IME プロパティを開き、[変換]タブ→[詳細設定(D)]ボタンをクリック。



- ② [JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する(J)]にチェックし[OK]をクリック。



3. Microsoft Edge (Chromium 版) を利用する場合

Microsoft Edge (Chromium 版)で電子入札システムを利用する前に、以下の「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

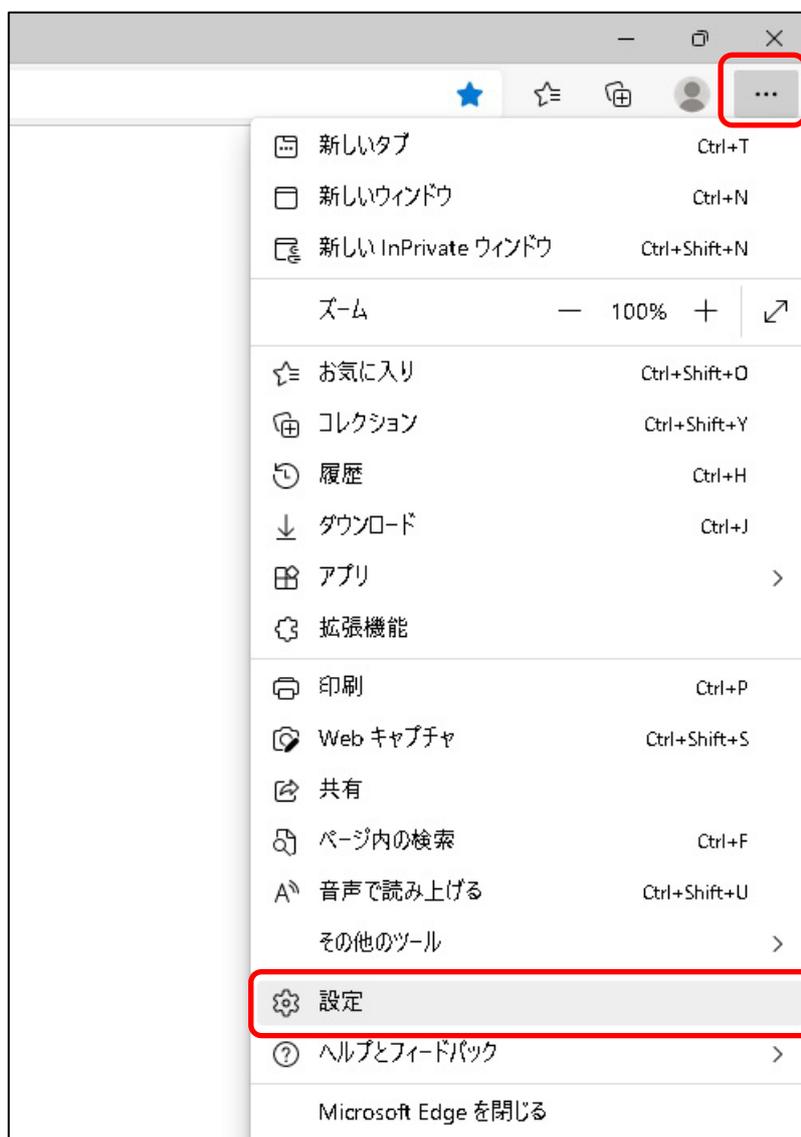
Microsoft Edge (Chromium 版)の場合、信頼済みサイトの設定はありません。

なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合は、「キャッシュクリア」と端末の再起動を行うことで改善されることがあります。

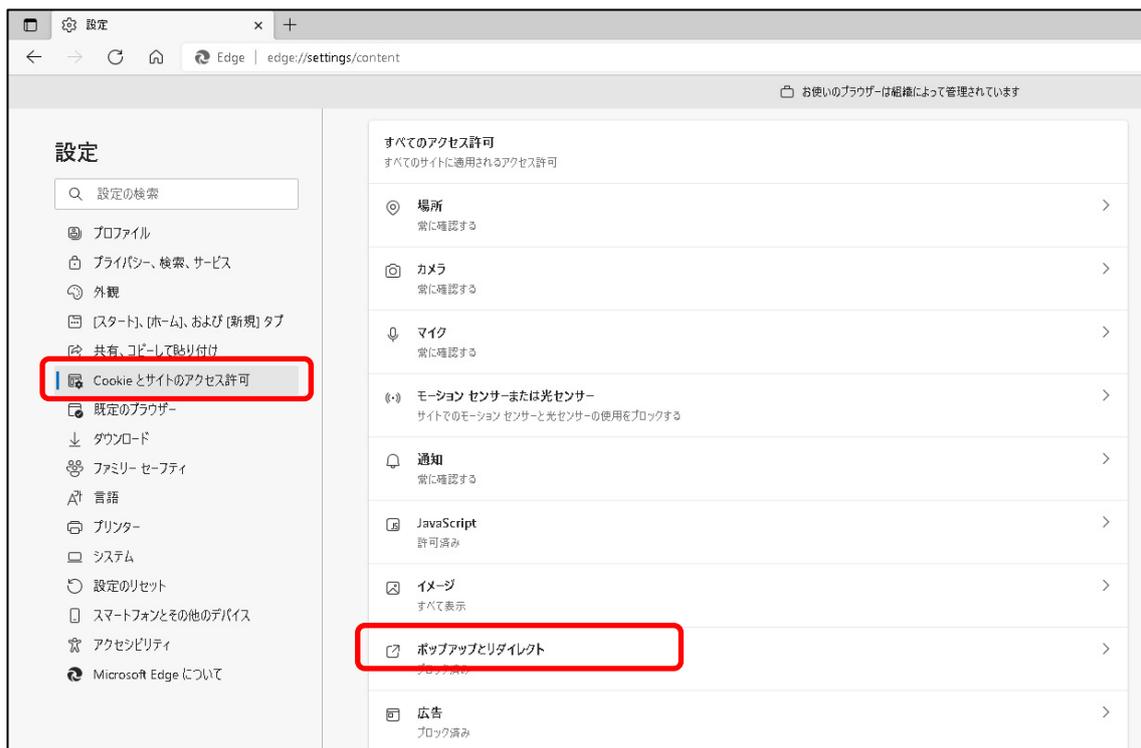
Microsoft Edge (Chromium 版) は頻繁にアップデートされるため、本書に掲載している画面イメージが変更されている場合があります。

3.1 ポップアップ許可の登録

- ① Microsoft Edge (Chromium 版)のウインドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリック。



- ② 画面左側のメニューの「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックして、表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリック。



- ③ 「許可」欄の右にある「追加」をクリック。



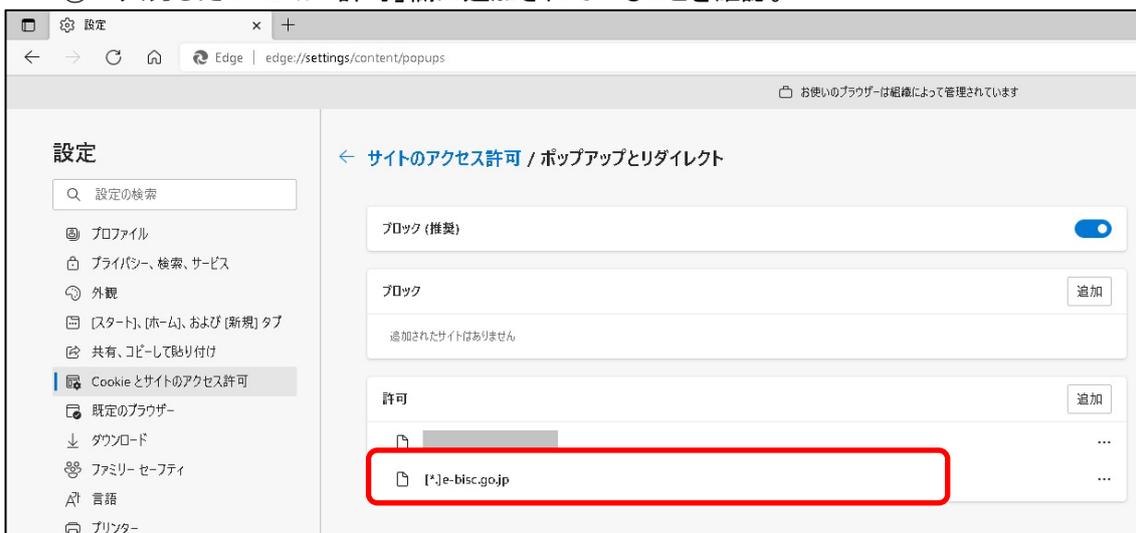
- ④ 以下の登録するアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリック。



登録するアドレス（半角文字入力）

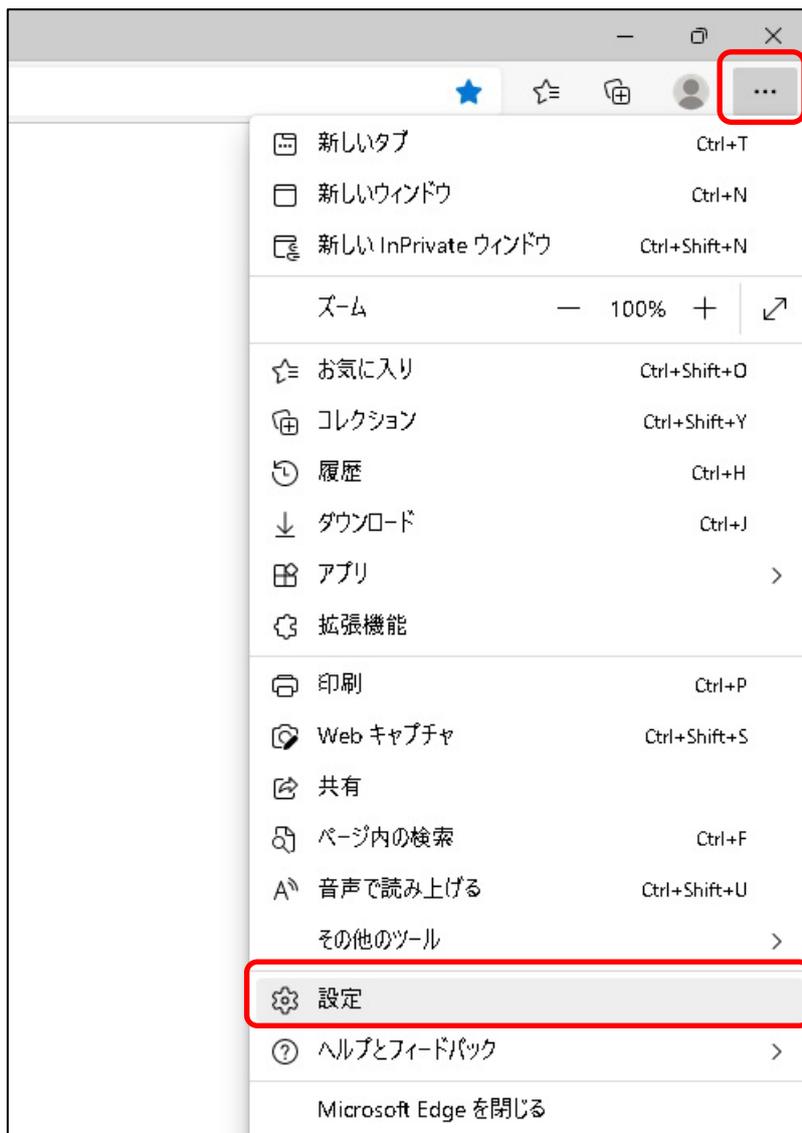
- ・ 『 [*]e-bisc.go.jp 』

- ⑤ 入力した URL が「許可」欄に追加されていることを確認。



3.2 キャッシュクリア

- ① Microsoft Edge (Chromium 版)のウインドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリック。



- ② 左側のメニューにある「プライバシー、検索、サービス」をクリックし、表示された画面の「閲覧データをクリア」にある「クリアするデータの選択」ボタンをクリック。

The screenshot shows the Microsoft Edge settings page for privacy and tracking prevention. The left sidebar contains a list of settings categories, with "プライバシー、検索、サービス" (Privacy, Search, Services) highlighted with a red box. The main content area is titled "トラッキングの防止" (Tracking Prevention) and includes a section for "退跡防止" (Tracking Prevention) with three levels: "基本" (Basic), "バランス" (Balanced), and "厳重" (Strict). Below this is a section for "閲覧データをクリア" (Clear browsing data) with two buttons: "今すぐ閲覧データをクリア" (Clear browsing data now) and "クリアするデータの選択" (Select data to clear), the latter of which is highlighted with a red box.

設定

設定の検索

- プロフィール
- プライバシー、検索、サービス**
- 外観
- [スタート]、[ホーム]、および [新規] タブ
- 共有、コピーして貼り付け
- Cookie とサイトのアクセス許可
- 既定のブラウザ
- ダウンロード
- ファミリー セーフティ
- 言語
- プリンター
- システム
- 設定のリセット
- スマートフォンとその他のデバイス
- アクセシビリティ
- Microsoft Edge について

Edge | edge://settings/privacy

お使いのブラウザは組織によって管理されています

弊社ではお客様のプライバシーを尊重しています。
弊社では、お客様が必要とする透明性と制御を提供して、お客様のプライバシーを常に保護し、尊重します。[プライバシーに対する取り組みについての詳細](#)

トラッキングの防止

Web サイトでは、トラッカーを使用して閲覧に関する情報を収集します。Web サイトでは、この情報を使用して、サイトの改善やパーソナル設定された広告などのコンテンツの表示を行う場合があります。一部のトラッカーでは、ユーザーの情報を収集し、アクセスしたことがないサイトにその情報を送信することがあります。

退跡防止

基本

- すべてのサイトでほとんどのトラッカーを許可する
- コンテンツと広告がパーソナル設定される可能性があります
- サイトは適切に機能します
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

バランス (推奨)

- アクセスしたことがないサイトからのトラッカーをブロックします
- コンテンツと広告はほとんどパーソナル設定されない可能性があります
- サイトは適切に機能します
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

厳重

- すべてのサイトから送られるトラッカーの大部分をブロックします
- コンテンツと広告のパーソナル設定が最小限に抑えられる場合があります
- サイトの一部が機能しない可能性があります
- 既知の有害なトラッカーをブロックします

ブロックされたトラッカー
ユーザーの退跡がブロックされているサイトを表示する >

例外
選択したサイトですべてのトラッカーを許可する >

InPrivate で閲覧するときは、常に "厳重" な退跡防止を使用する

閲覧データをクリア

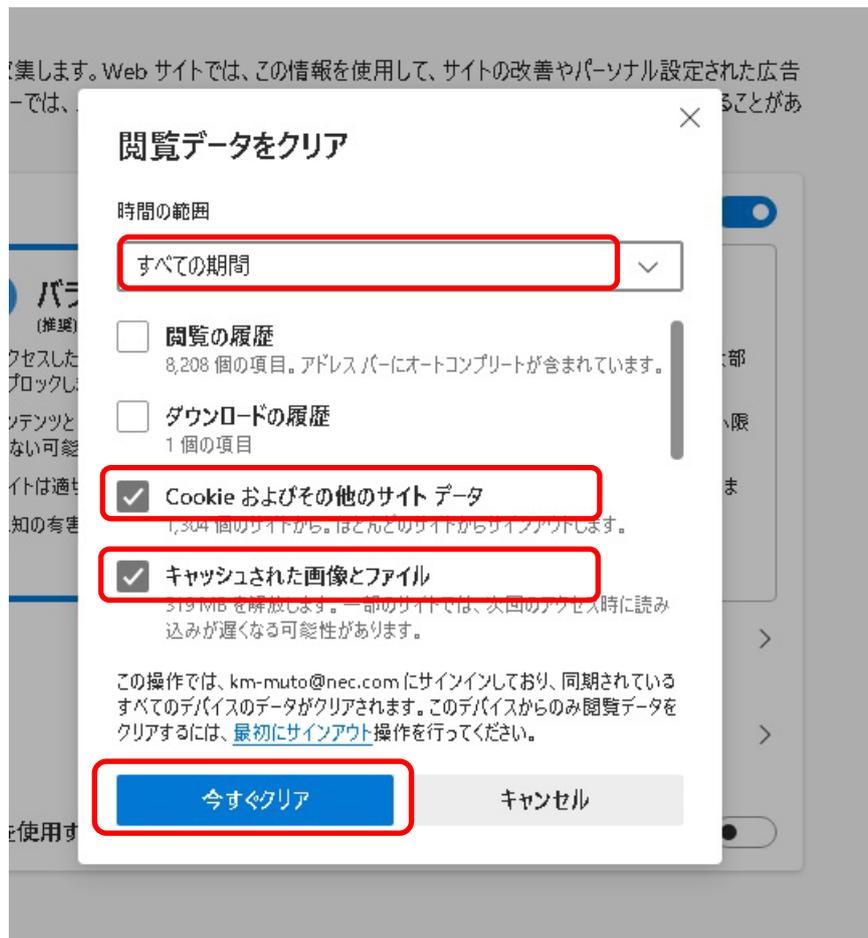
これには、履歴、パスワード、Cookie などが含まれます。このプロフィールのデータのみが削除されます。[データの管理](#)

今すぐ閲覧データをクリア

クリアするデータの選択

ブラウザを閉じるたびにクリアするデータを選択する >

- ③ 「時間の範囲」は「すべての期間」を選択し、「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックしてから、「今すぐクリア」ボタンをクリック。



4. Google Chrome を利用する場合

Google Chrome で電子入札システムを利用する前に、以下の「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

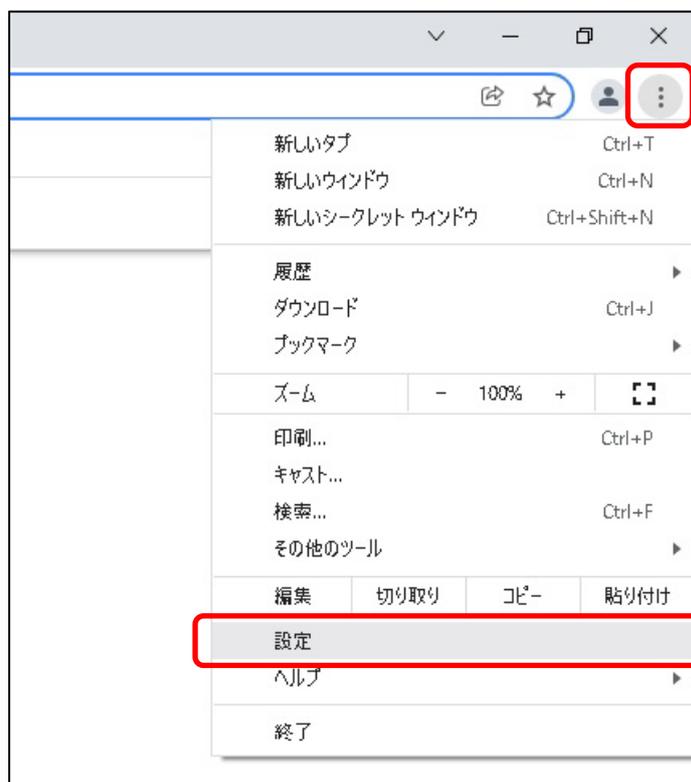
Google Chrome の場合、信頼済みサイトの設定は不要です。

なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合は、「キャッシュクリア」と端末の再起動を行うことで改善されることがあります。

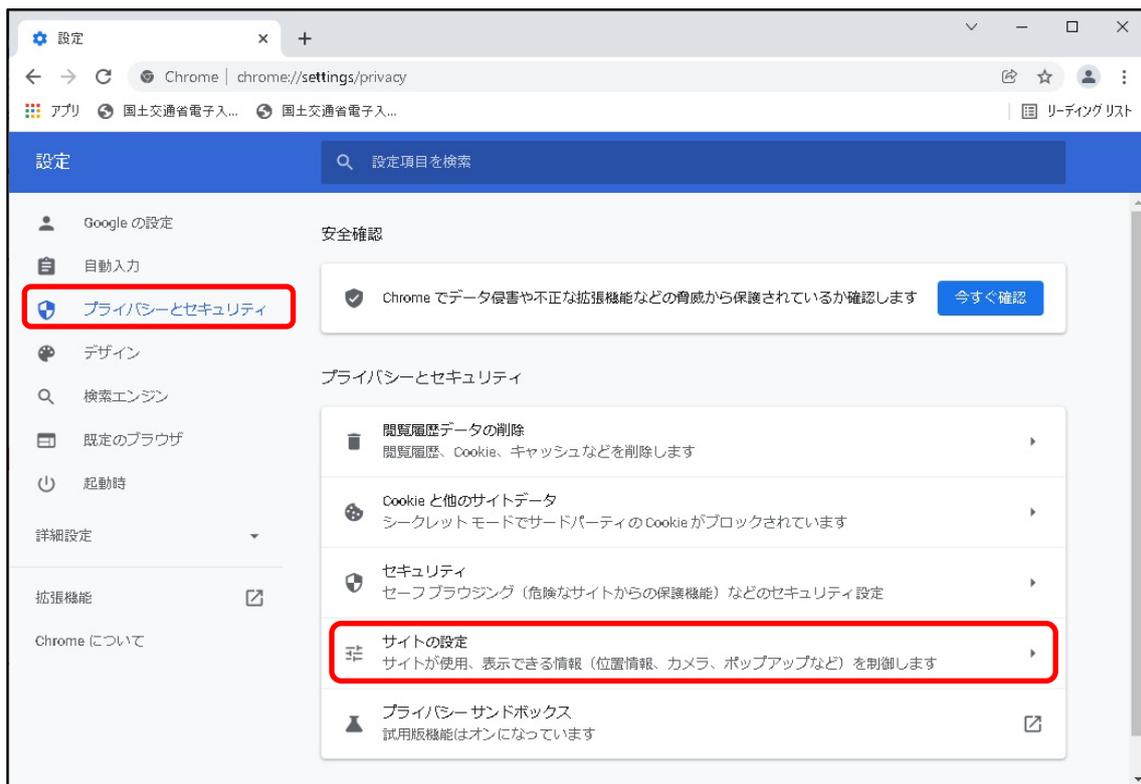
Google Chrome は頻りにアップデートされるため、本書に掲載している画面イメージが変更されている場合があります。

4.1 ポップアップ許可の登録

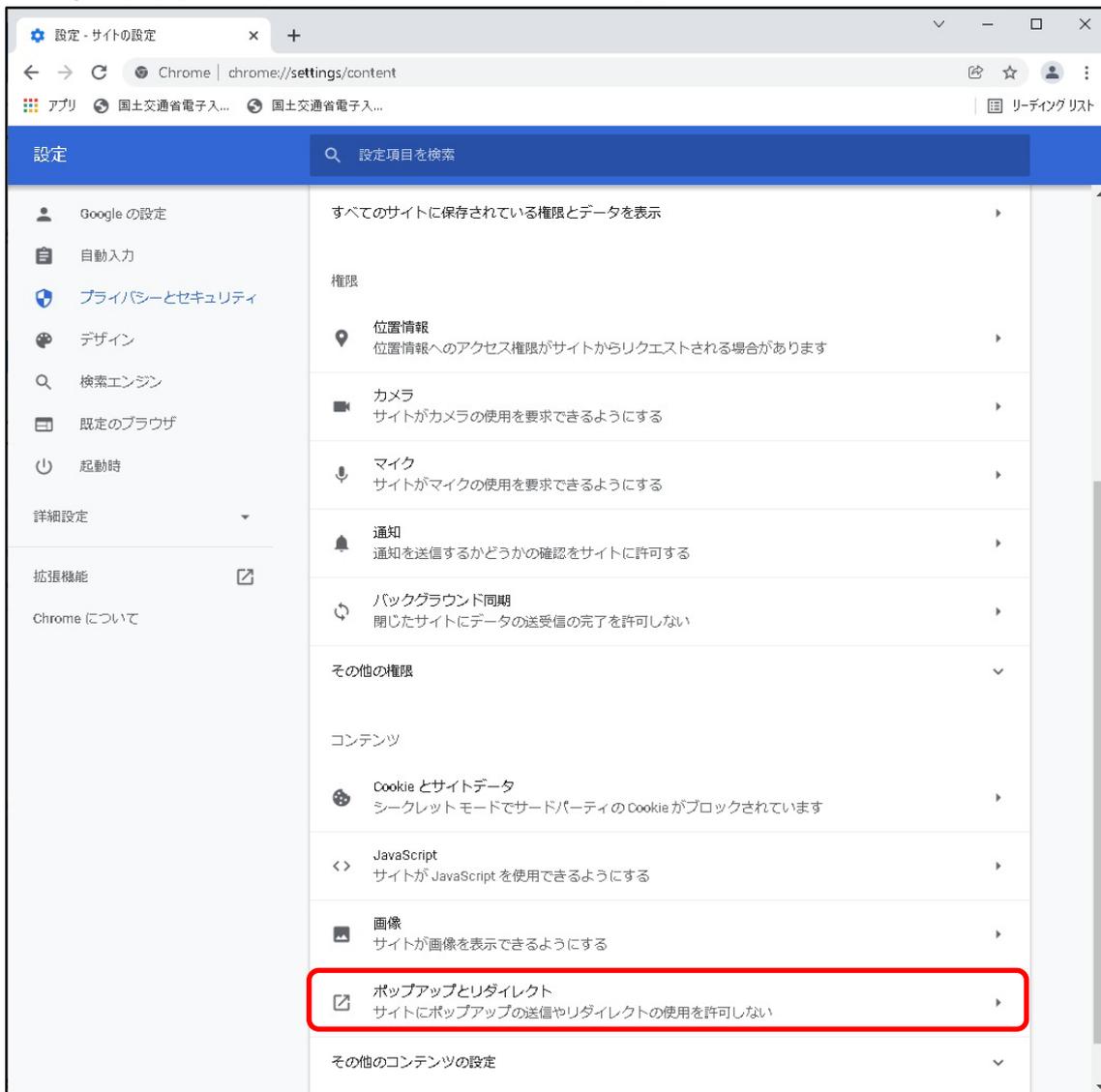
- ① Google Chrome のウインドウ右上の「×」のすぐ下にある「⋮」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリック。



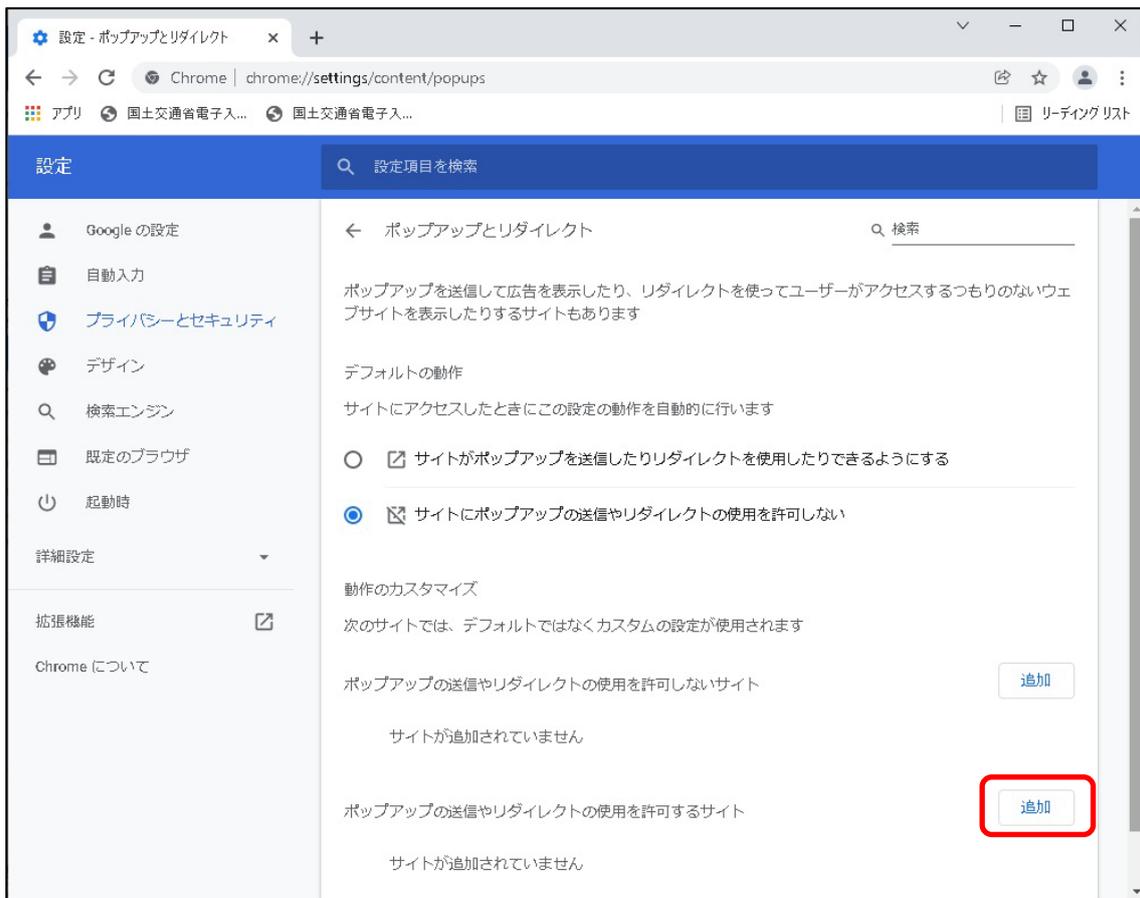
- ② 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリック。



③ 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリック。



- ④ 「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」欄の右にある「追加」ボタンをクリック。



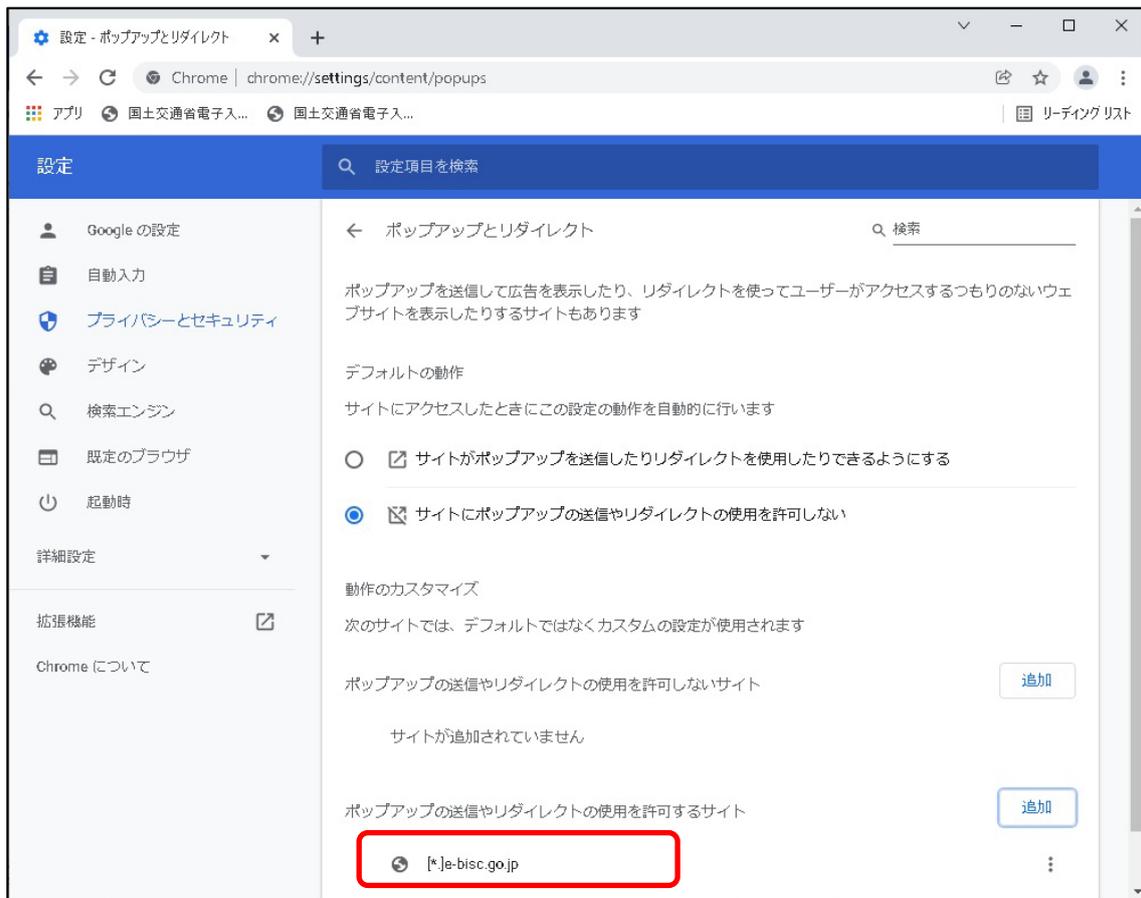
- ⑤ 以下の登録するアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリック。



登録するアドレス（半角文字入力）

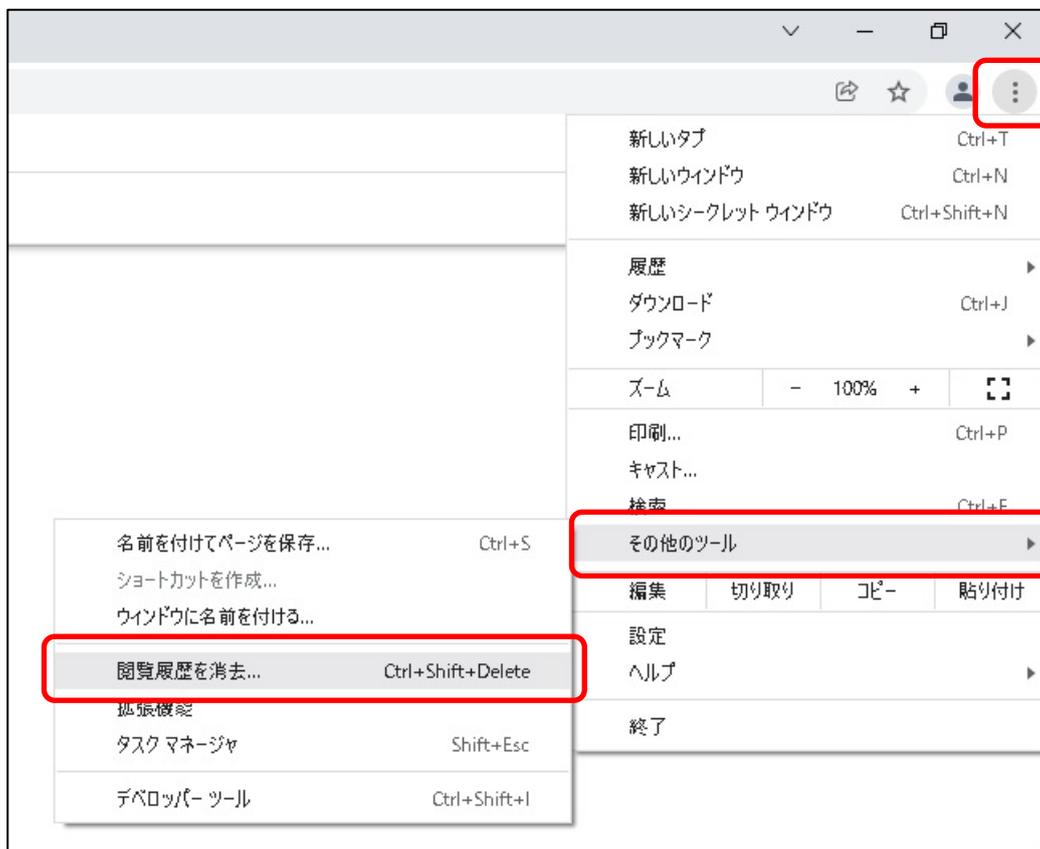
- ・ 『 [*]e-bisc.go.jp 』

- ⑥ 入力した URL が「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」欄に追加されていることを確認。

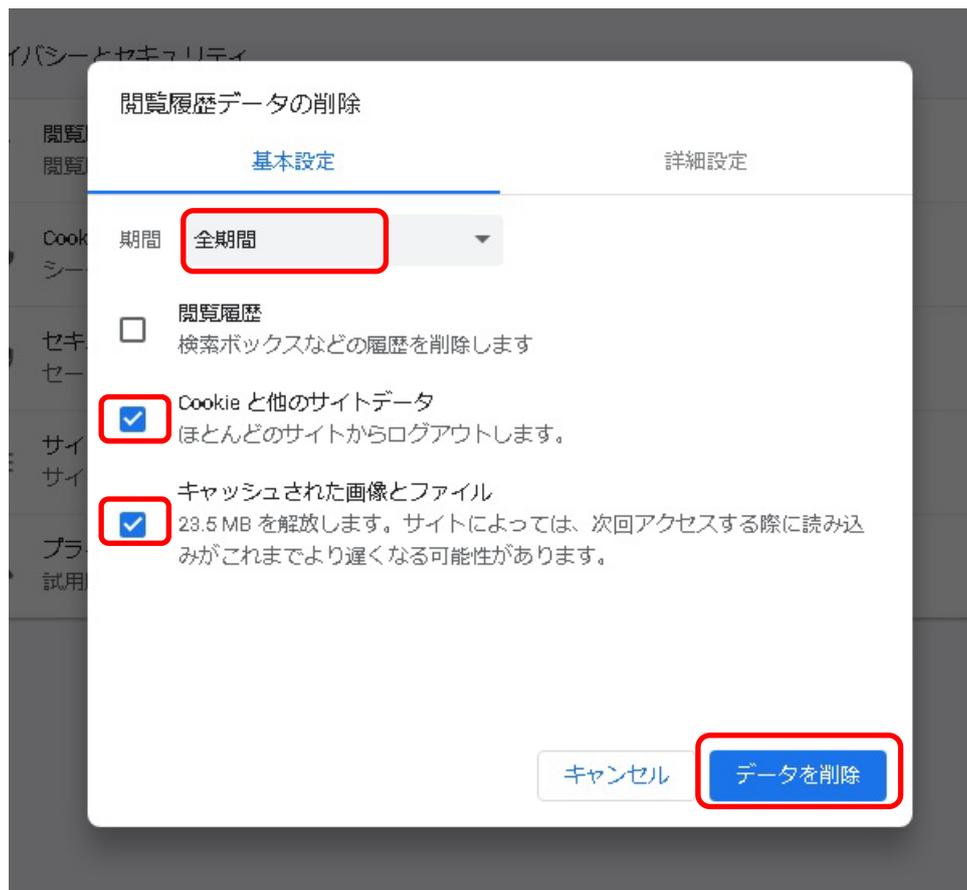


4.2 キャッシュクリア

- ① Google Chrome のウインドウ右上の「×」のすぐ下にある「⋮」をクリックして、表示されたメニューから「その他のツール」にマウスポインタを合わせ、表示されるサブメニューの「閲覧履歴を消去...」をクリック。



- ② 「期間」は「全期間」を選択し、「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックしてから、「データを削除」ボタンをクリック。



5. その他制限事項

OS、ブラウザによる影響の他に、以下のような制限事項があります。これらは電子入札システムの一部機能使用時に発生するものであり、電子入札の動作に影響を与えるものではありません。

5.1 ファイルの添付に際して内容表示ができない

応札者側の操作において、申請書等の提出時の「申請書等提出内容確認」画面等の各操作画面内にある[表示]ボタンより、提出前に添付ファイルの内容表示をさせようとした際、システムが反応しない事象が発生します。(スクリプトエラー時の表示設定によってはエラーダイアログが表示されます。)

発注者のシステム操作では本件に該当する箇所はありません。

【対応】

応札者においては、添付したファイルの内容は別途ファイルエクスプローラー等を利用し、添付時の参照先(ファイルパス)のファイルを直接指定することで確認ができます。

5.2 説明要求等で文字が重複表示される

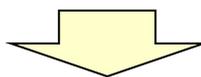
説明要求の「説明要求内容」欄等の入力において、文字が重複して表示されることがありますが、以下の対応を行うことで修正することができます。

【文字が重複表示されている場合】

入力画面での入力

説明要求内容

「特記仕様書」の「第〇〇条 その他」に記載されています注意事項の内容につきまして、確認させていただきたいことがあります。詳細につきましては、添付資料「確認事項.xls」の項番11に記載していますので、そちらを参照ください。



確認画面での表示

質問内容

「特記仕様書」の「第〇〇条 その他」に記載されています注意事項の内容につきまして、確認させていただきたいことがあります。詳細につきましては、添付資料「確認事項.xls」の項番11に記載していますので、そちらを参照ください。

文字の重複表示が発生

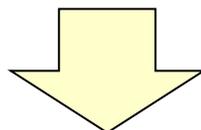
【対応】

入力画面に戻り、全ての行において入力欄の右端で改行を入れることにより、文字の重複を回避することができます。

入力画面での再入力

説明要求内容

「特記仕様書」の「第〇〇条 その他」に記載されています注意事項の内容につきまして、確認させていただきたいことがあります。詳細につきましては、添付資料「確認事項.xls」の項番11に記載していますので、そちらを参照ください。



重複した文字を削除し、
行末で改行を入れる

確認画面での表示

質問内容

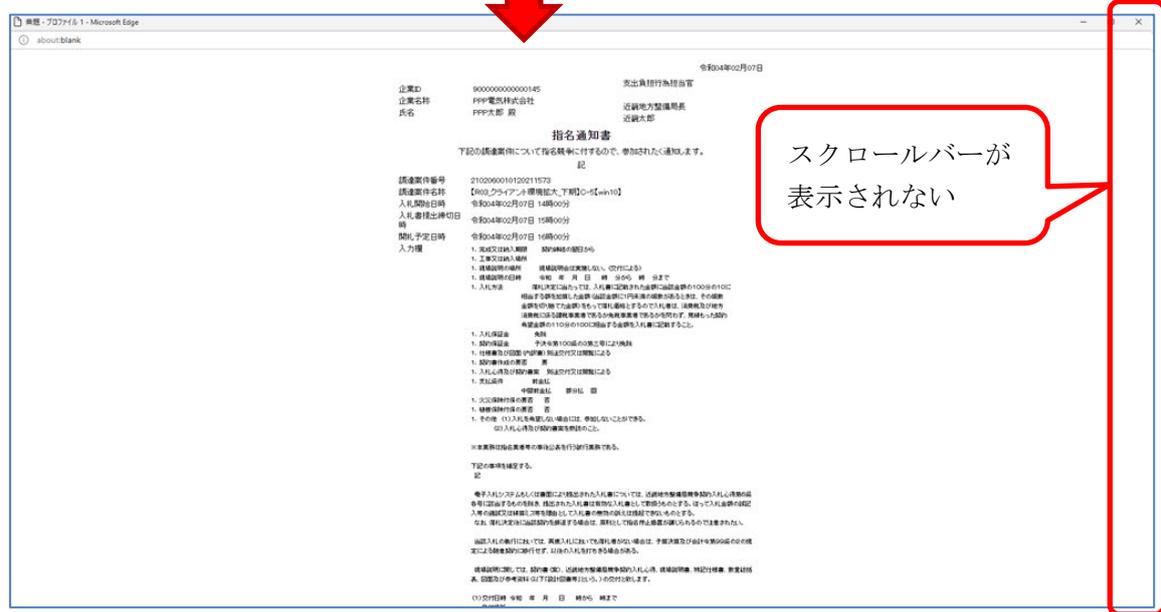
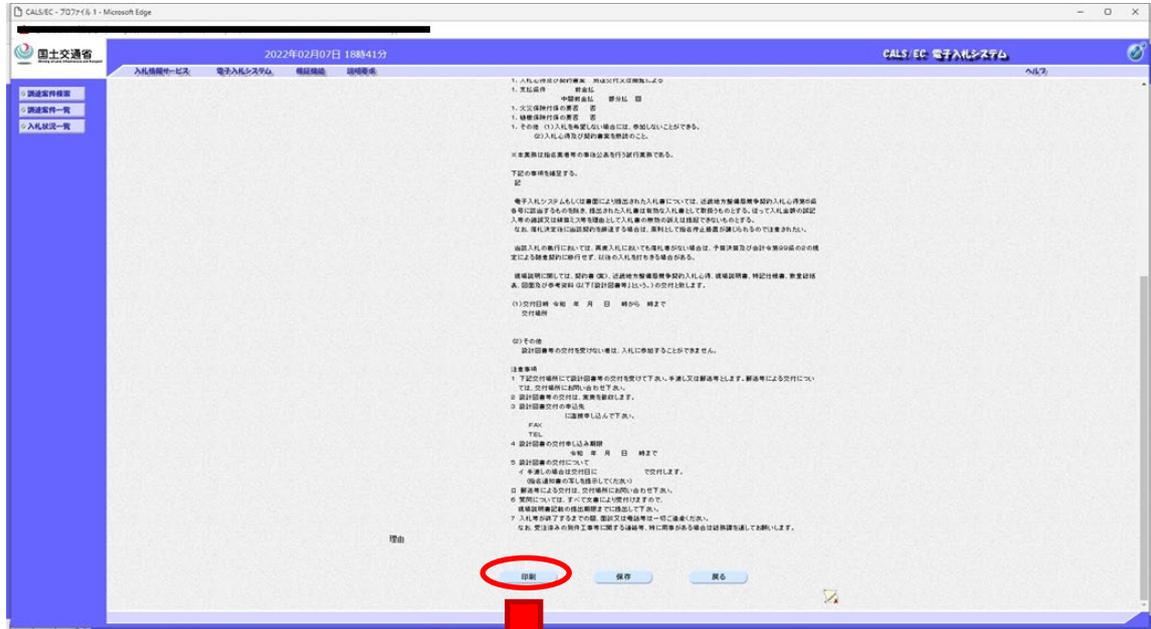
「特記仕様書」の「第〇〇条 その他」に記載されています注意事項の内容につきまして、確認させていただきたいことがあります。詳細につきましては、添付資料「確認事項.xls」の項番11に記載していますので、そちらを参照ください。

文字の重複が改善

5.3 印刷画面でスクロールバーが表示されない

印刷ボタン押下時に開かれた印刷画面にてスクロールバーが表示されず、全文が確認できない事象が発生します。

※現在のところ、Microsoft Edge (Chromium 版)と Google Chrome のバージョン 98 でのみ事象を確認。



【対応】

ブラウザの印刷機能(印刷プレビュー)で、全文が確認できます。

5.4 翻訳オプション(翻訳ツール)のアイコン、ダイアログが表示される

入札公告新着情報ページ等の操作時に、翻訳オプション(翻訳ツール)のアイコン、ダイアログが表示される場合があります。

(1) Microsoft Edge (Chromium 版) の場合



(2) Google Chrome の場合

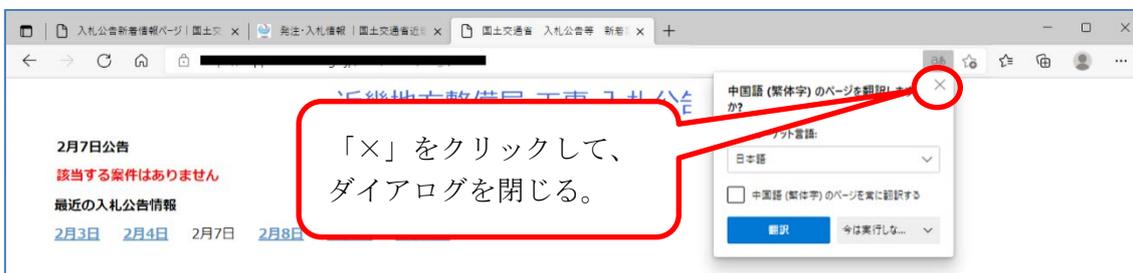


【対応1】

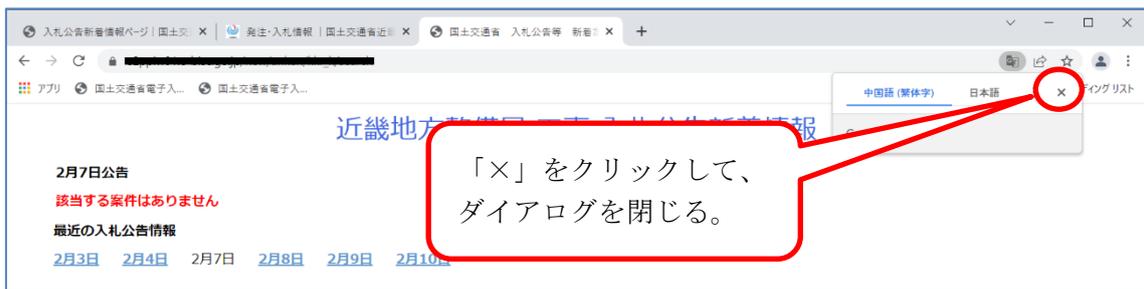
翻訳オプション(翻訳ツール)のダイアログが表示された場合は、そのままダイアログ内の「x」をクリックして、ダイアログを閉じてください。

※翻訳オプション(翻訳ツール)のアイコン、ダイアログを表示させなくしたい場合は、後述の対処方法【対応2】(ブラウザの設定)を実施してください。

(1) Microsoft Edge (Chromium 版) の場合



(2) Google Chrome の場合

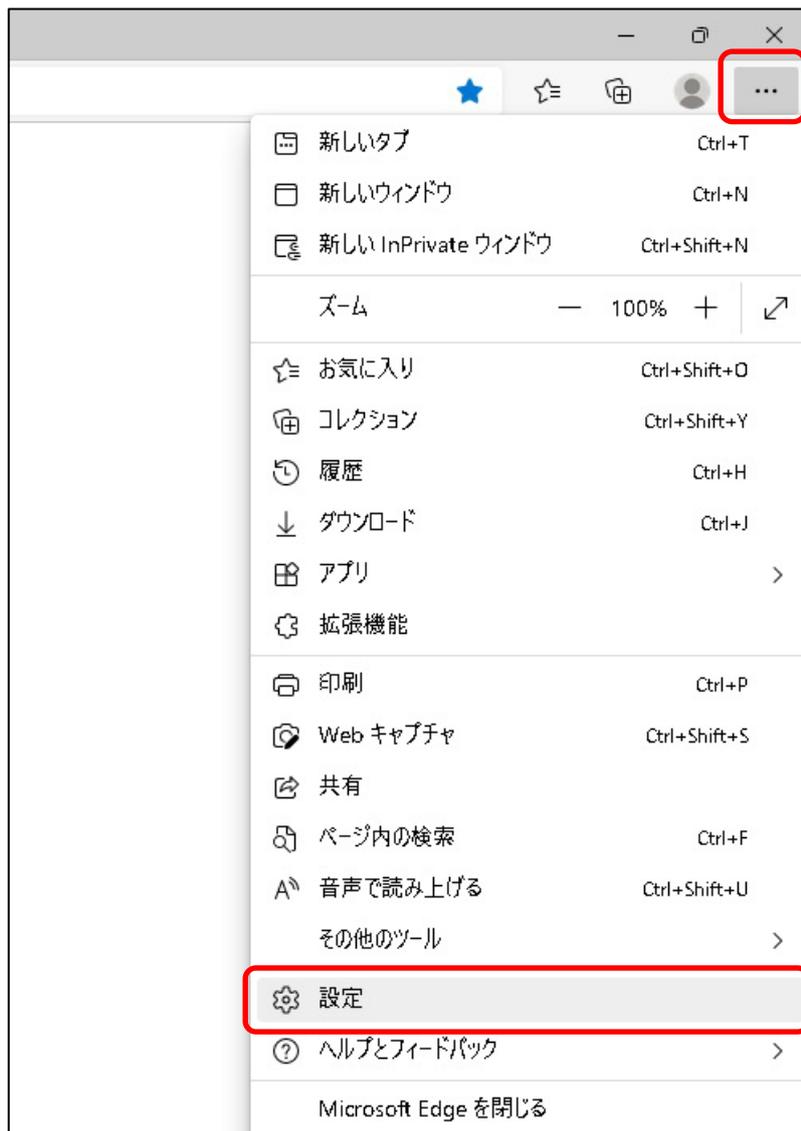


【対応2】

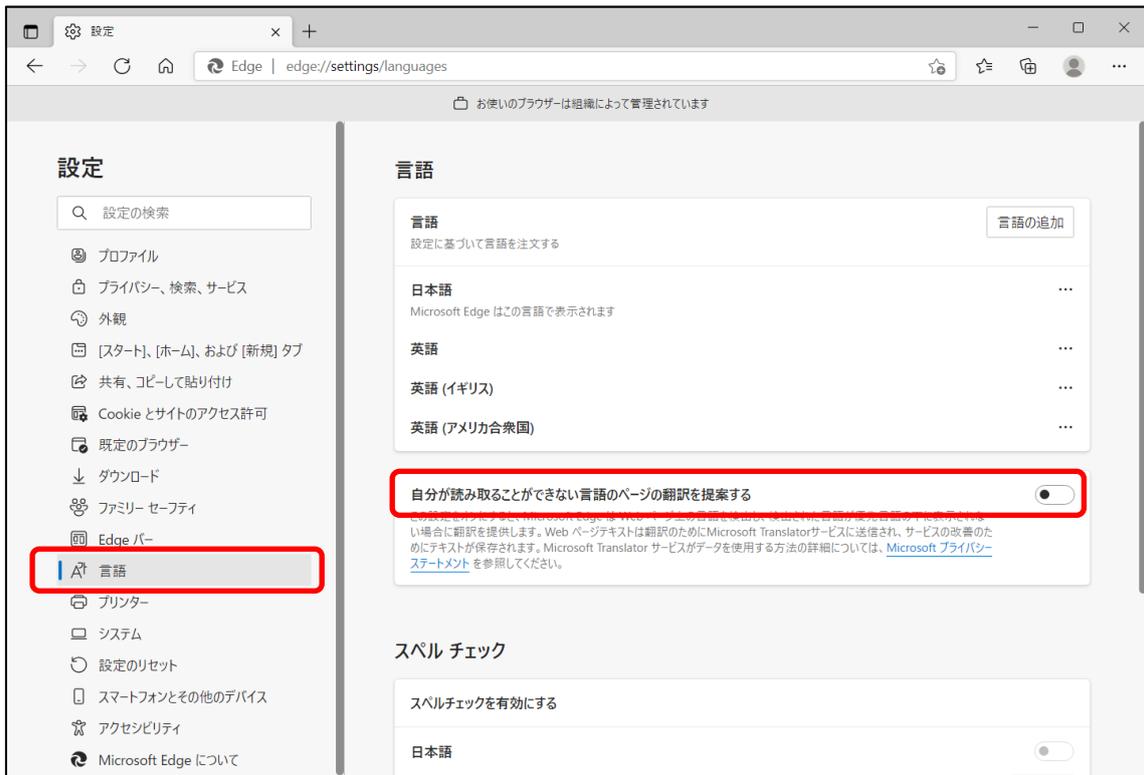
以下のブラウザの設定をすることで、翻訳オプション(翻訳ツール)のアイコン、ダイアログを表示させなくすることができます。

(1) Microsoft Edge (Chromium 版) の場合

- ① Microsoft Edge (Chromium 版)のウィンドウ右上の「X」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリック。

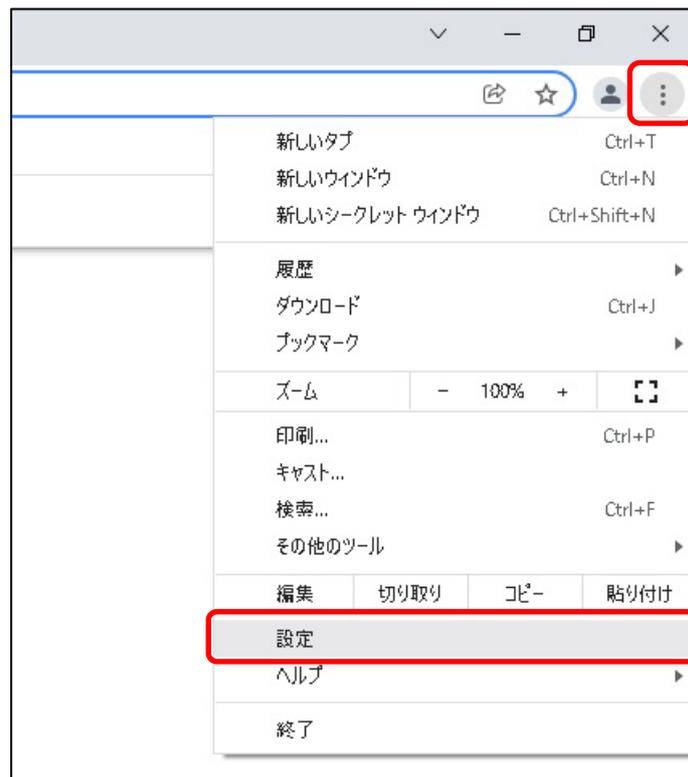


- ② 画面左側のメニューの「言語」をクリックして、表示された画面の「自分が読み取ることができない言語のページの翻訳を提案する」の設定をオフにする。

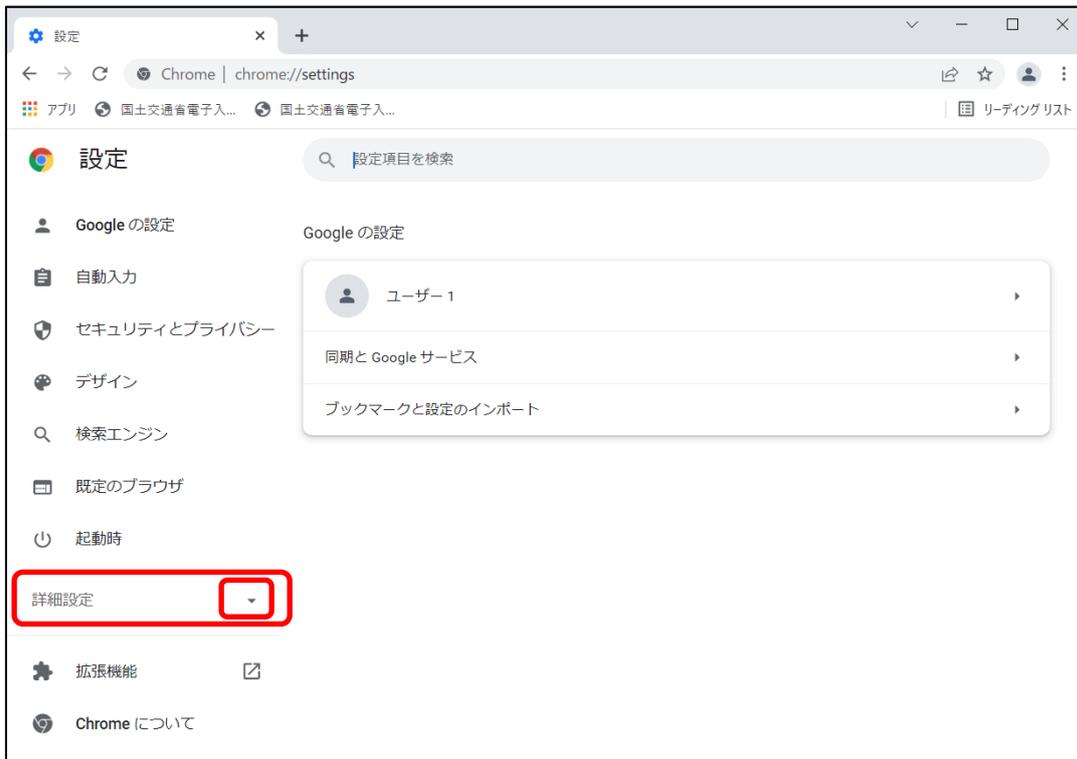


(2) Google Chrome の場合

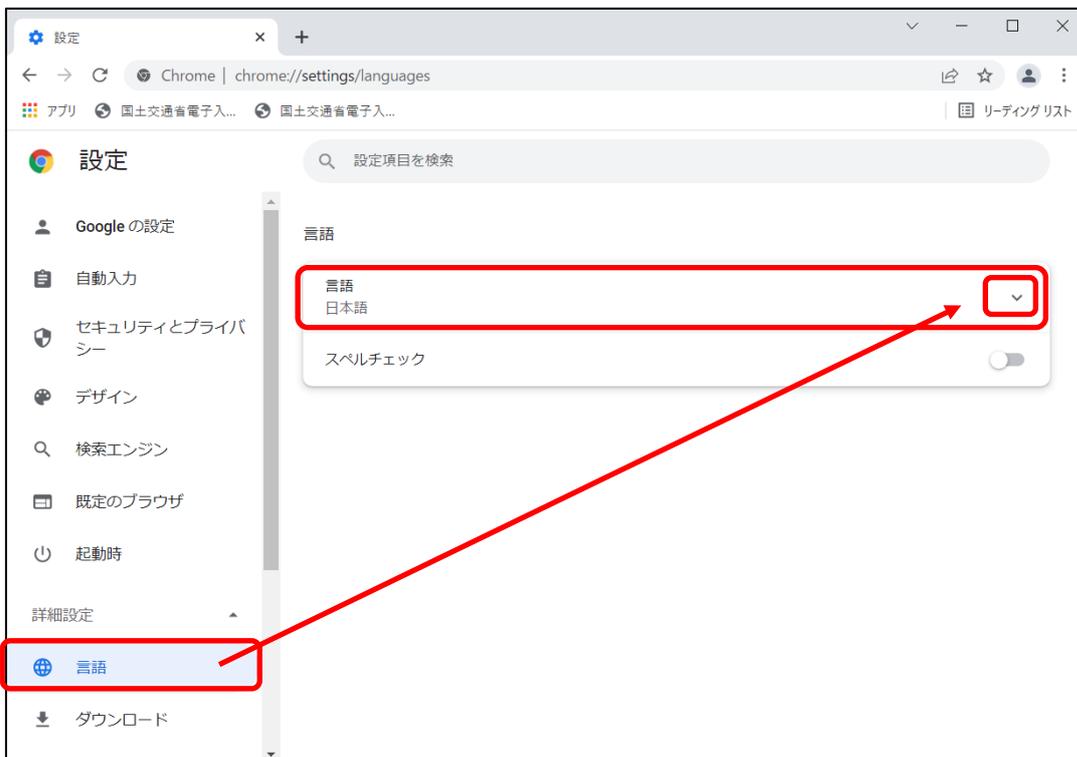
- ① Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「⋮」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリック。



② 画面左側のメニューの「詳細設定」の横の「▼」をクリック。



③ 詳細設定の下に展開されたメニューの「言語」をクリックして、表示された一覧から「言語」枠の「V」をクリックして設定パネルを開く。



- ④ 表示された画面の「母国語以外のページで翻訳ツールを表示する」の設定をオフにする。

